

R7年度 第3回多職種研修会 アンケート結果

令和8年2月16日（月）19時～20時30分

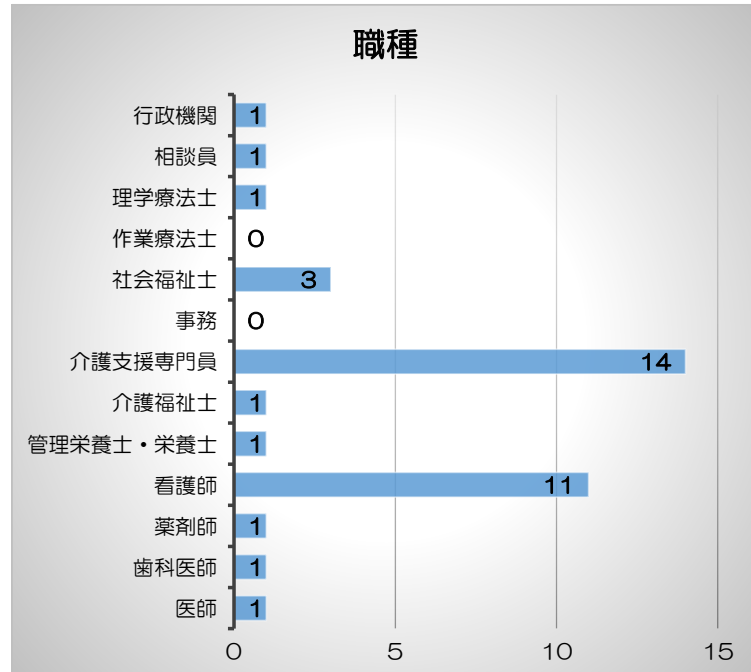
秦野市教育庁舎3階 大会議室

参加者数	回答数	回答率
57	36	63.2%

(司会入れて58人参加)

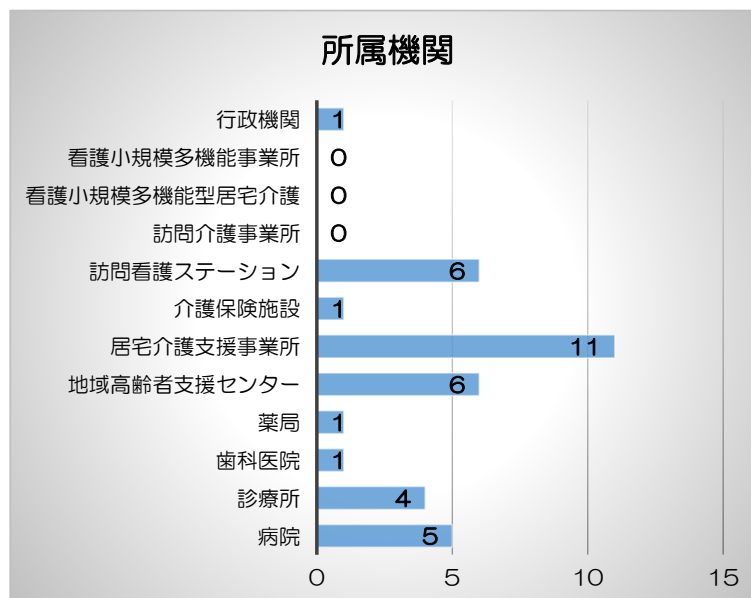
アンケート回答者の職種

職種	回答数
医師	1
歯科医師	1
薬剤師	1
看護師	11
管理栄養士・栄養士	1
介護福祉士	1
介護支援専門員	14
事務	0
社会福祉士	3
作業療法士	0
理学療法士	1
相談員	1
行政機関	1



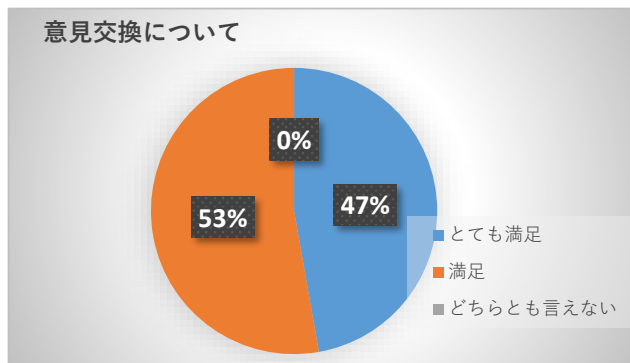
アンケート回答者の所属機関

所属機関	回答数
病院	5
診療所	4
歯科医院	1
薬局	1
地域高齢者支援センター	6
居宅介護支援事業所	11
介護保険施設	1
訪問看護ステーション	6
訪問介護事業所	0
看護小規模多機能型居宅介護	0
看護小規模多機能事業所	0
行政機関	1



ワールドカフェ方式での意見交換について

	回答数
とても満足	17
満足	19
どちらとも言えない	0



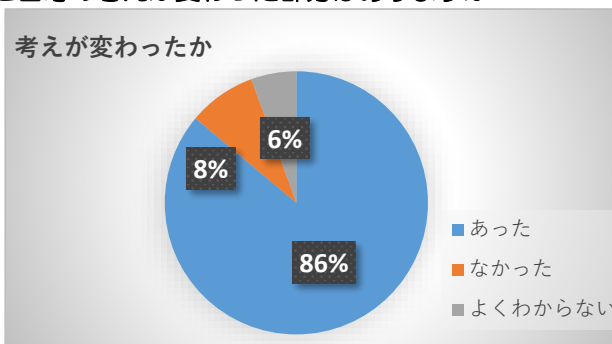
現在、地域の医療・介護・福祉関係者と連携できていますか。

	回答数
はい	36
いいえ	0



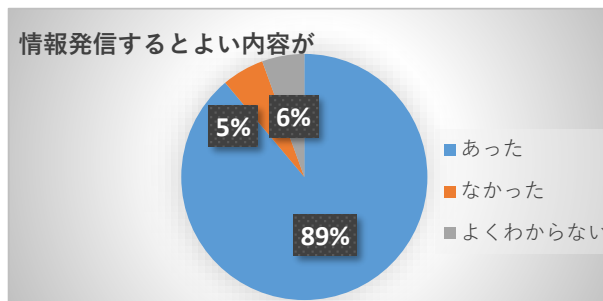
普段連携する以外の方と意見交換することで、ご自身の考えが変わった部分がありますか

	回答数
あった	31
なかった	3
よくわからない	2



本日の研修会で、地域の医療・介護・福祉専門職に向けて情報発信するとよい内容があると感じましたか

	回答数
あった	32
なかった	2
よくわからない	2



情報発信するとよい内容があったと答えた方、それはどんなことですか (一部抜粋)

お互いが知りたい・必要な情報は何かを周知できると良いと思う。

情報共有ツールがあるといいと思いました。

他の方の意見を聞く機会となり貴重な時間となりました。誰のための研修会なのかを考えた時に自分だけでなく利用者さんの為という意識になりました。

医療機関との連携は主に連携シートを活用しているが、個人病院や急性期の病院に寄ってほしい情報が異なる(そこまで在宅での生活状況を知らなくてもよい。簡略化してADLや使っているサービス、退院後どのレベルであれば在宅へ戻れるかなど)分からない時は直接電話して情報収集することで書類の簡略化が出来ればよいと感じた。またSNSを使っただけの情報共有の意見も出たが、タイムリーではなく状況が変化したり連絡がなりつばなしになるので問題もあるとの意見もあった。

忙しい中でも、みんな情報共有してほしいと思っている。連携しながら利用者にとって一番いいサービスを提供したいと思っている。報共有の仕方を秦野市だけのやり方でもいいから、決めて実行していくこと

利用者や患者に対してより良い生活を過ごしてもらいたいという思いは一緒であるが、医療、看護側ができることうまみがないと連携しにくいことや介護側が医療に対してなかなか意見する機会やつながりがしにくい思うことがまだまだあると思う。垣根があると感じる。このような機会は直接話ができることでより現場サイドの意見が出るのでこの研修機会こそ参加ができて情報交換できることができるといいなと思いました。

ICTツールの活用による情報連携強化について。

職種が違う方と連携する場合、相手がどの情報が欲しいか確認して共有していくと良いと思った。

同じグループの方から「働いている病院の療養病棟が高いというイメージがあるが、他の病院と比較しても大差ない。イメージを払拭したい」との話があった。事業所や病院などの紹介が出来る機会があると良いのかも思った。

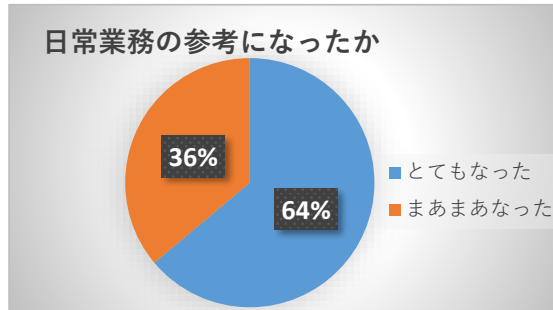
昨日の話の中で各クリニックのドクターと電話など連絡(相談など)の取りやすい時間帯をまとめた表があるとのことでした！あるとより一層連携しやすいと思いました！

口腔ケアの重要性をもっと発信すべき

歯科との連携をより深めること。口腔ケアの重要性は共通理解されていることだが、キーパーソンとなる歯科医との連携が不足していると感じる。医療連携では、歯科医と連携をとる事が少ないと感じる。歯科医師からも声が上がっていたので、積極的に意見交換できる場が欲しい。

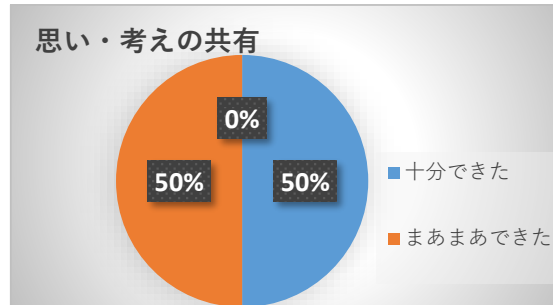
今後の研修は、日常業務の参考になりましたか

	回答数
とてもなった	23
まあまあなった	13
あまりならなかった	0
全くならなかった	0



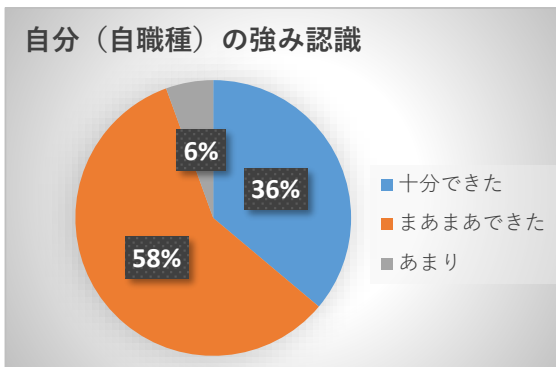
他の参加者との思いや考えを共有できましたか

	回答数
十分できた	18
まあまあできた	18
あまり	0
全くできなかった	0



自分/自職種の強みを認識できましたか

	回答数
十分できた	13
まあまあできた	21
あまり	2
全くできなかった	0



ご自身の職種や日常業務で感じる相談支援の中で、特にどのような場面で困りごとを感じていますか
(一部抜粋)

退院時の連携がない時
看護サマリーの取り扱いが病院によって違う
経済的、身体的な状況のある困難事例の対応
情報が降りてこないこと。例えば、食事の摂取量が少ない、食べさせて欲しいと依頼があっても口の中の状況がわからない。口の中は健康にとって一番大事な事なのに、身体の見える所の支援ばかりになっている
患者様のご様子等を細かく報告したいが、小さなことでも報告してもいいのか、連絡するのが迷惑にならないか気にしてしまう
医師にご相談などがあるときに医師はどのようにしてくれると対応しやすいと思われているのか
他機関と連携はしているもの、誰がどの部分を行うか役割分担の所で押し付け合いになってしまう
かかりつけ医がおらず介護保険の申請が出来ない。本人も受診を拒否のためサービスに繋がらないケース
ケアプラン変更時に連絡がない場合がある。特にデイサービスの変更や追加は訪問日の調整が必要になる場合があるため変更あれば連絡いただくと助かる
ご本人だけではなく、ご家族が抱えるご病気や生活等も考慮しなければならない事が増えてきています。特に未就労や精神疾患を患っている方が増え、サービス選択にも考慮が必要になり、本人に適したサービス調整が出来にくい事が困っています。
お一人暮らしの方の、対応、支援・お一人暮らし、生活困難な方、生活保護を受けられない方の支援・ご家族の経済困難な方への支援・担当に着いた方に、全て任されてしまう
患者の家族以外の後ろにいる医療、介護の関係者の方々の顔が見えない事が多い事

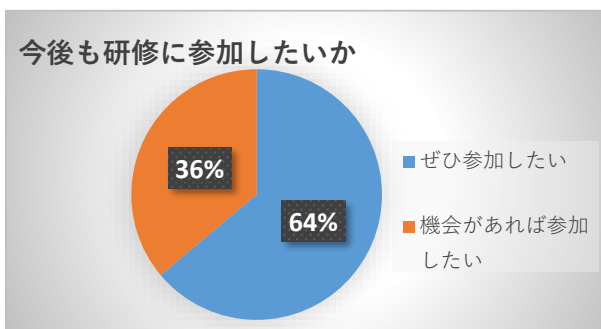
その困りごとへの対応において、どのような工夫をすれば他機関と「もっと協働できる」と感じますか

(一部抜粋)

顔の見える関係性を作っているの、困った時に相談やアドバイスをもらうことができると思う。
情報共有できる仕組みができたと思います。
入退院マニュアルのような仕組みを希望します。
定期的に横の繋がりを続けて行く事だと思います。
日々、顔の見える関係づくりの構築 チャットで情報共有できるツールがあるといい
アセスメントの項目に、口の中の様子も詳しくいれてサービスを入れる前に、検討する一つにいれてほしい。
診療報酬の問題もあるので、難しいとは思いますが、まず出来ることとしてはもっとACPが一般的にならないといけないと思います。医療者や介護者が、良かれと思うシナリオではなく、本人が選ぶ最善を話し合う必要があると思います。
連携会議を開き、役割分担を決めて、情報共有しやすい環境づくりが大切だと思う。今回の研修会で顔の見える関係性が出来て良かったと思う。
保健所のもの忘れ相談やこころの相談のような、医師が訪問してくれる事業はとても良いと思う。それ以外の様々な専門医が訪問してくれると良い。
専用フォーマットを作成すると、記入の大変さがあると思う。顔の見える関係を構築し、気軽にお電話での口頭連絡をいただくようする。
少ないサービスの中で、情報の共有を図り在宅での生活が保てるようにしています。しかし、サービス中は管理者も訪問に出ているなど連絡が直ぐに取れない事もあり、共通のツール等で簡素化したものがあると助かると感じます。
連絡ノートなどを活用

今後も研修会に参加したいと思いますか

	回答数
ぜひ参加したい	23
機会があれば参加したい	13
どちらともいえない	0
あまり参加したくない	0



多職種研修会に対するその他のご意見・ご感想や印象に残ったことなど自由にご記入ください

普段接しない方々と交流ができ、職種により感じていることがわかり良かったです。
多職種との連携や垣根を越えての意見交換が楽しく学べ、ワールドカフェならではの意見が聞けてとても良いと思いました。もっといろいろな現場の方が交代で体験できるとよいと感じました。
出会いの場としてとてもありがたいです。普段は電話だったり、面と向かってもし少ししか喋る時間がない方もたくさん話せました。また参加したいと思います
なかなか会うことはありませんが、ほかの事業所にいる管理栄養士と話がしてみたいです。
会を重ねるごとに和やかや雰囲気になっているように感じています。時間があっという間に過ぎるので、大変有意義な時間になりました。ありがとうございました。
グループになれず話せなかった方も多く居たので、欲を言えばもう少し交流できり機会があればと思いました
他職種の考えを聞くことができ有意義でした
狭い会場であったため、他のグループの話す声が大きく、グループ間の話が良く聞き取れなかった。グループ分けだけでなく、あらかじめ席順も決まっており、それが開示されていれば、名簿を見ながら、事業所同士の挨拶がもっとしやすいと思う。
医療職も含めて、口腔の事を理解されていないと意見があった事
今日は、参加者が多かったので、今後は少人数での話し合いを望みます